

サッポロホールディングス株式会社との 「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の締結について

株式会社みずほ銀行（取締役頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、サッポロホールディングス株式会社（代表取締役社長：尾賀 真城、以下「サッポロホールディングス」）との間で、シンジケーション方式による「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）のアレンジャーに就任し、融資契約を本日締結しました。「本商品」におけるジェネラルシンジケーション方式の資金調達支援は、本件が初めてとなります。

本商品は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利、以下「みずほリサーチ&テクノロジーズ」）が国内外で信頼性の高い人的資本に関する情報開示のガイドライン（ISO30414、内閣府人的資本可視化指針等）を参考に、独自に開発した評価手法を用いて、企業の人的資本経営に関する可視化・開示と実践の取り組みをスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し、みずほ銀行が融資を行う商品です。また、みずほリサーチ&テクノロジーズによる定期的なモニタリングとフィードバックを行い、お客さまの人的資本経営の継続的な取り組みを支援していく商品です。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています（※2）。

サッポロホールディングスは、中期経営計画の基本方針である「Beyond150 ～事業構造を転換し新たな成長へ～」を実現する上で、「ちがいを活かして変化に挑む越境集団となる」を掲げ、人財戦略を経営基盤の柱として位置付けており、人財戦略においては「多様性の促進」「社内外人財の流動的な活用」「スピードある成長に向けた積極投資」「エンゲージメント向上と健康促進」「経営人財育成」を重点施策として定め、より具体的なアクションプラン、KPIに基づき、経営戦略の実行を支える等、人的資本経営を実践しています。

みずほ銀行およびみずほリサーチ&テクノロジーズは、サッポロホールディングスが、育成領域において成長と生産性向上のためDX・IT基幹人財等に対する積極投資による育成を行い、その取り組みの一つである当該プログラム受講者が需要を予測するAIモデルを構築し予測の精度を向上させることができた成果を開示していること、またガバナンス領域において取締役会におけるサステナビリティマネジメントとして人財戦略を含む内容についても、その業務執行状況を監督することを開示していること等、本商品の評価指標を高い水準で満たしていることを評価しています。

〈みずほ〉は、各企業が中長期的な企業価値向上につながる人的資本経営を実践することが重要と考えています。本商品の提供を通じ、継続的なエンゲージメント（建設的な対話）を行うことで、お客さまの持続的成長、及び中長期的な企業価値の向上に貢献することを目指すとともに、国内における人的資本経営の取り組みの普及・促進に貢献していきます。

<案件の概要>

融 資 先 : サッポロホールディングス

アレンジャー行 : みずほ銀行

貸 付 人 : 国内金融機関 18 社

契 約 締 結 日 : 2023 年 12 月 20 日

実 行 日 : 2023 年 12 月 22 日

※1 Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス

2023 年 5 月 30 日付プレスリリース「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の取り扱い開始
について

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230530_2release_jp.pdf

※2 株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上